

TIEPhは3つの研究ユニットから成り立っています。

第1ユニット >>>

第1ユニット（自然観探求ユニット）では、東洋・西洋における自然観の探究を通じて、「エコ・フィロソフィ」の中核を形成する共生哲学を追究する。とくに南方熊楠などの日本の思想家に注目しながら、文明の転換に寄与しうる新たな思想の国際的な発信をめざしている。また宗教、哲学、芸術等をふまえつつ、社会学、経済学など異分野における成果をも採り入れて、「エコ・フィロソフィ」の実践的な展開に取り組んでいる。

第2ユニット >>>

第2ユニット（価値観・行動ユニット）の研究目的は、環境に対する人々の価値観を測定し、その国際比較を通じて環境政策や環境教育への提言を行うこと、および人々の環境配慮行動を導くための社会心理学的な要因を明らかにして、コミュニティ活動の指針を提供することである。人間と環境との関わりの哲学を背景にしながら、心理学の実証的研究方法を用いて、エコ・フィロソフィの社会科学的実践を目指す役割を担っている。

第3ユニット >>>

環境関連課題への取り組みの成否は、生態系であれ、大気循環であれ、金融経済であれ、社会ネットワークであれ、それぞれのシステム固有の動きを追跡すると同時に、それらに対してどれだけ効果的な手を打てるか、その際の選択肢はどれほど活用できているのかの吟味にかかっている。環境デザインは、システムに新たな変数を出現させることで、システムそのものの再編や拡張を行うためのアイデアと工夫の連続からなる。身体、魂、健康のデザインは哲学的にも未着手の挑戦的課題である。



研究メンバー

山田利明 Toshiaki YAMADA	代表(センター長)、環境デザインユニット Professor, Environment Design Unit Project Representative
永井晋 Shin NAGAI	自然観探求ユニット Professor, Nature Unit
大島尚 Takashi OHSHIMA	価値観・行動ユニット Professor, Values and Behavior Unit
河本英夫 Hideo KAWAMOTO	環境デザインユニット Professor, Environment Design Unit
竹村牧男 Makio TAKEMURA	自然観探求ユニット Professor, Nature Unit
吉田公平 Kohei YOSHIDA	自然観探求ユニット Professor, Nature Unit
山口一郎 Ichiro YAMAGUCHI	自然観探求ユニット Professor, Nature Unit
坂井多穂子 Tahoko SAKAI	自然観探求ユニット Associate Professor, Nature Unit
安藤清志 Kiyoshi ANDO	価値観・行動ユニット Professor, Values and Behavior Unit
堀毛一也 Kazuya HORIKE	価値観・行動ユニット Professor, Values and Behavior Unit
関谷直也 Naoya SEKIYA	価値観・行動ユニット Associate Professor, Values and Behavior Unit
今井芳昭 Yoshiaki IMAI	客員研究員 Research Fellow
田中綾乃 Ayano TANAKA	客員研究員 Research Fellow
横打理奈 Rina YOKOUCHI	客員研究員 Research Fellow
西村玲 Ryo NISHIMURA	客員研究員 Research Fellow
稻垣論 Satoshi INAGAKI	研究支援者 Research Supporter
野村英登 Hideto NOMURA	研究支援者 Research Supporter
関(山村)陽子 Yoko SEKI	研究支援者 Research Supporter
大久保暢俊 Nobutoshi OKUBO	研究支援者 Research Supporter
武藤伸司 Shinji MUTO	プロジェクトリサーチアシスタント Project Research Assistant(PRA)
岩崎大 Dai IWASAKI	プロジェクトリサーチアシスタント Project Research Assistant(PRA)

東洋大学

「エコ・フィロソフィ」  
学際研究イニシアティブ

TIEPh

TIEPh

Transdisciplinary  
Initiative for  
Eco-Philosophy

TIEPh事務局  
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20  
tel 03-3945-7534  
e-mail ml.tieph-office@toyo.jp  
<http://tieph.toyo.ac.jp/>



## 「エコ・フィロソフィとは」

エコ・フィロソフィとは何か、  
という質問をよく受ける。確かに、  
エコ（Ecology）とは生態学であって、  
そのまま訳せば、生態哲学という訳の分からぬ  
ことばになってしまう。しかし、地球という  
環境の中での人類や他の動植物との相互作用を  
考えれば、その環境に最も強く影響を与えているのが  
人類である以上、生態系を保全するための  
基盤的思想を構築する必要がある。ただし、  
地球上の生態系は、森林や海洋ばかりではなく、  
都市や工業地帯、山岳や極地など、その土地、  
地域によって変化する。ところが、その生態保持の  
大きなサイクルは、システムとして共通の  
働きを行うものが大半である。つまり、  
エコ・フィロソフィは、多様な生態系のシステムを  
保持するための方法を考える領域  
といつてもよい。もちろん、それだけではなく、  
環境問題全般に関わる領域を含むことになる。  
地球を保全する哲学（エコ・フィロソフィ）、  
それは私たちの日常生活の中にある。



東洋大学  
「エコ・フィロソフィ」  
学際研究イニシアティブ  
代表（センター長）  
山田利明



# 「エコ・フィロソフィ」を生きる

東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ（Transdisciplinary Initiative for Eco-Philosophy, Toyo University: TIEPh）は、「サステナビリティ学連携研究機構」（IR3S）の協力機関として発足いたしました。また、2011年度より「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成23年度～平成27年度）」に採択され、一般社団法人「サステナブル・サイエンス・コンソーシアム（SSC）」やSSC傘下の各研究機関と連携しながら、環境問題やサステナビリティに関する研究活動を行っています。

TIEPhは、「自然観探究ユニット」、「価値観・行動ユニット」、「環境デザインユニット」の3ユニットから組織されています。各ユニットは、研究、調査を進めることで、環境や

その持続可能性（サステナビリティ）にかかわる問題に対して「エコ・フィロソフィ」がどのような役割を果たしうるのかを喫緊の課題として引き受け、それら成果を、シンポジウムやセミナーの開催、ニュースレターや研究年報の刊行、DVD作品の制作、教科書の発行を通して発表しています。また、学部講義として、東洋大の全5キャンパスに同時配信する全学総合講義「エコ・フィロソフィ入門」が、TIEPh研究員によって行われ、多くの学生にエコ・フィロソフィの本質を伝えるための活動が続けられています。

「エコ・フィロソフィ」をめざすことによって、地球規模のサステナビリティ学の課題に応え、次世代社会に対する私たちの責任を果たしていきたいと考えています。



研究成果等はTIEPhウェブサイト  
(<http://tieph.toyo.ac.jp/>) にて  
公開しております